



雨の日の遊び方の ヒント



「雨の日は外で遊べないし…何をして過ごそうかな？」と悩んでいる保護者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。雨＝室内遊びと考えてしまいがちなのですが、実は雨の日だからこそ楽しめる遊びもたくさんあるのです。

今回は、保育士目線で雨の日の遊び方のヒントをお伝えします。パパ・ママも童心に戻って、親子で雨の日ならではの遊びを楽しんでみてはいかがでしょうか。



準備をして、外に出てみよう



歩けるお子さんは長靴を履いて、合羽(かっぱ)や傘を準備して外に出てみましょう。汚れても良い服装だと、思いっきり遊ぶことができますよ。

赤ちゃんは抱っこや屋根の付いたベビーカーで、気温に合わせた服装でお出かけできるといいですね。

水たまりで遊ぼう

子どもも大人も長靴を履いて、水たまりに入ってみましょう。水たまりの中を歩いてみたり、水たまりの中でジャンプをしてみたり…水の感触を感じながら、水面が揺れる様子やしびき上がる様子を楽しんでみましょう。道路にできた水たまりと泥の中にできた水たまりでは、入ったときの感触が違います。泥の中の水たまりでは、泥が足にまとわりつくような感覚も楽しめますよ。水たまりに映る景色や水たまりに雨が落ちる様子、葉っぱや花びらを浮かべて水面の様子が変わる様子などを観察してみるのも面白いですよ。



雨の音を聞こう

合羽や傘に当たる雨の音はどんな音？親子で耳をすませてみましょう。雨の強さによって、音の強さも違いますね。透明の傘なら、水滴が表面を流れ落ちていく様子を見ることができます。

雨や風が強くて外に出られないときでも、お家の中でも耳をすませてみると、屋根や窓に当たる雨の音が聞こえてきますよ。



見つけてみよう

葉っぱの上にいるかたつむり、土の中から出てくるみみずなど、雨の日にしか出てこない生き物を探してみましょう。かたつむりは、草の生い茂る公園や河原の木の葉の裏に隠れています。角を触ると一旦引っ込め、またすぐに伸ばす様子を観察するのも面白いですよ。また、雨に当たらないように葉っぱの裏で雨宿りをしている虫もいます。親子で一緒に探してみましょう！



雨の匂いを感じよう

雨の降り始め、雨が止んだ後には『雨の匂い』がしませんか？雨の匂いには名前がついており、科学で解明されているそうです。雨の日ならではの匂いをお子さんと一緒に感じて、感性を刺激してみてくださいは？



雨の日は発見がいっぱい。「〇〇があったね」とお子さんが見つけたものを言葉にしてあげたり、パパ・ママが見つけたものをお子さんに知らせたりしてあげましょう。それによりお子さんは様々な物事の名前を知り、身近なものに対する興味が広がっていきます。

様々な発見を親子で共有しながら、雨の日の遊びを楽しみましょう！